

ミステリ読書案内

2023. 10. 7 発行元

第519号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

赤川次郎「ベスト表」(再掲)

現在も活躍を続けている赤川次郎の『ベスト表』を再び取り上げることにする。作品数があまりにも多いので、全部を読むのは至難の業。デビューの時点から長年読み続けてきた私なりの『ベスト表』である。

柱になるのは「三毛猫ホームズ」

以前の『赤川次郎の代表作』の号では『三毛猫ホームズの推理』、『幽霊列車』、『セーラー服と機関銃』の三作を取り上げた。

これらが出版された時期、私は全部の本を買おうとしていたので、たちまちに本棚が赤川次郎だらけになってしまった。それで半分以上を古本屋に出そうと考えたのだが、古本屋もあまりの多さに買い取りを受け付けなくなってしまった。そんな時代があったのだ。

な時代があったのだ。

今回、何を…と考えた時、『三姉妹探偵団シリーズ』、『四文字熟語(大貫警部)シリーズ』、『吸血鬼シリーズ』などが思い浮かんだのだが、「短編集にしよう」と思い直して、初期の頃のシリーズ外の作品から『ミステリ博物館』と『結婚案内ミステリー風』を選んでみた。どちらも赤川次郎の特徴がよく出ている。読みやすく、明るい気持ちで楽しく読めるのが良い。一気に読みができるというものだ。

「ミステリ博物館」

1982年フタバノベルス。

『小説推理』に連載したものをまとめた短編集。初期の頃の赤川次郎作品には「本格もの」要素の強いものがある。本書も、編集者の提案にでも乗ったものか『密室』『人間消失』…などの不可能犯罪テーマが並んでいる。まあ、『永井夕子シリーズ』の『幽霊列車』もその系列に属すると言えば言えるのだが。中身は赤川流のユーモアに満ちたドタバタに近い展開で、重苦しい雰囲気は皆無。そこが有難いのだが…。

中尾旬一が探偵役、私(谷川)がワトソン役になっている短編がいくつか入っている。巻頭の『密室』。私がホテルのロビーに座っていると「殺人を見に来ないか?」と話ながら通り過ぎる客がいる。その後結婚パーティに参加することになるが、離れに泊まったカップルの一人が亡くなるという伝説があると聞く。果たして次の日の朝になると、離れの壁と屋根は消え失せ、残されたベッドには殺された新郎の死体が…。

「結婚案内ミステリー風」

1980年主婦と生活

社の21世紀ノベルスとして出た本。『ジュノン』に連載したものをまとめた短編集。初期の頃の赤川作品らしさが楽しめる。

深田栄一が経営する結婚相談所が舞台。活躍するのはただ一人の所員である寺沢紘子。巻頭の『心中志願』。小野貴子という女性の申し込みカードの「男性の条件」の項目に書かれていたのは「泳げない人」。そして「男性に望む点」の項目に書かれていたのは「私と一緒に死んでくれる人」。この条件に興味を示した松谷進とお見合いを設定すると…。散歩の途中で、貴子は松谷の手を引っ張ってプールに飛び込んでしまった。幸い松谷は泳げたので命に別状はなかったが、紹介の役を担った所員の紘子は猛烈な抗議を受けることに。その後、貴子の夫と称する男性が相談所に現れて、これまで繰り返されてきた心中騒ぎの話を…。

《赤川次郎作品のベスト表》

1. 三毛猫ホームズの推理
2. 幽霊列車 (短)
3. 三毛猫ホームズの追跡
4. 三毛猫ホームズの狂死曲
5. 幽霊候補生 (短)
6. 三毛猫ホームズの恐怖館
7. 三毛猫ホームズの駆け落ち
8. ミステリ博物館 (短)
9. 三毛猫ホームズの怪談
10. 三毛猫ホームズの騎士道
11. 三毛猫ホームズの運動会 (短)
12. 女社長に乾杯
13. 三姉妹探偵団
14. 幽霊愛好会 (短)
15. ひまつぶしの殺人
16. 死者は空中を歩く
17. 幽霊心理学 (短)
18. 自殺行き往復キップ
19. 晴れ、ときどき殺人
20. 三毛猫ホームズのびっくり箱 (短)
21. 結婚案内ミステリー風 (短)
22. 霧の夜にはご用心
23. 三毛猫ホームズの登山列車
24. 盗みは人のためならず (短)
25. 三毛猫ホームズの幽霊クラブ
26. 裏口は開いていますか
27. 悪妻に捧げるレクイエム
28. セーラー服と機関銃
29. 幽霊湖畔 (短)
30. 沈める鐘
31. 東京零年
32. 三毛猫ホームズの舞踏会
33. 窓際族に花束を
34. 冬の旅人 (短)
35. 死体置き場で夕食を
36. 忙しい花嫁
37. 田園殺人事件
38. 血とバラ (短)
39. 毒 ポイズン
40. いつか誰かが殺される
41. 華麗なる探偵たち (短)
42. 静かなる良人
43. 三毛猫ホームズの騒霊騒動
44. 三姉妹探偵団2
45. ウェディングドレスはお待ちかね
46. 静かな町の夕暮れに